



あと施工アンカー引張荷重確認試験機

テックマスター[®]

AT-200

新発売

アルミシリンダーを採用し、

本体重量を11kgに軽減!



新機能搭載の測定部

- 1.内部メモリー機能
- 2.グラフ試験モード表示
- 3.バックライト機能



通常時

バックライト
点灯時

耐震補強現場の皆様のご要望に応じて最適なスペックを追求しました。

作業性を重視 手軽で軽量、 コンパクト。

引張試験の条件は現場によって様々です。

作業を行う皆様がより安全で扱いやすい様に、本体の軽量化を実現しました。

- アルミシリンダー採用により本体重量を11kgに軽減
- 両端ワンタッチカプラー付き油圧ホース(3m)の採用により簡単に接続可能

正確に、 より確実に。

荷重・変位をデジタルで正確に測定・保存できる従来の測定部に、新たな機能を搭載しました。選択する試験モードに準じた表示形式と大きくなった文字で、試験の状況をより明瞭に表示します。

- 内部メモリー機能
- 多彩な測定モードを搭載
- バックライト機能により暗がりでの視認性が向上

実用的な その性能。

耐震の現場における要求性能を基に設計された引張試験機 AT-200は、その現場において性能を最大限に発揮します。

また、通常のあと施工アンカー工事の引張試験にも幅広くご使用いただけます。

- 最大荷重200kNまで測定可能
- 大口径センターホール(直径34.5mm)は、異形鉄筋D25まで貫通可能

測定部 大きな液晶画面に新機能を追加して使いやすさが向上。

新機能 1

内部メモリー機能でデータ蓄積が可能

現場でパソコンに接続しなくても、測定部にデータを蓄積できます。

グラフ試験モード：99件 (F01~F99) 荷重・変位/荷重試験モード：9,999件 (P0001~P9999)

新機能 2

多彩な測定画面表示

- ①グラフ試験モード/試験現場の立会者へ即時に簡易的な荷重・変位曲線を提示可能(右記イメージ参照)
- ②荷重・変位試験モード
- ③荷重試験モード
- ④現在時刻表示



新機能 3

バックライト機能

トンネル内部や地下の暗い現場でもバックライト機能により、肉眼で数字がくっきり見えます。デジカメでの記録用撮影も安心です。



テクノテスター報告書作成支援ソフト

テクノテスター Report

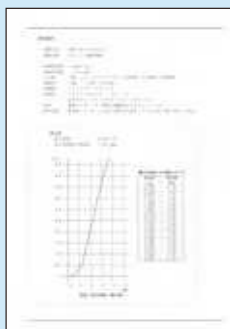
テクノテスター Report は、データ蓄積機能を持ったテクノテスターの測定データをパソコンに取り込み、Microsoft Excel ワークシートとして保存し報告書の作成をするためのソフトウェアです。

<動作環境>

OS : Windows XP (SP2以上)

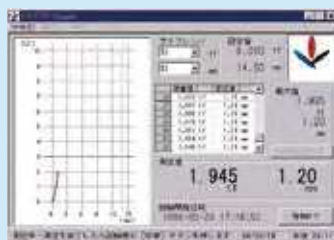
アプリケーション : Microsoft Excel 2000~2003

のいずれかがインストールされている必要があります。



テクノテスター計測支援ソフト

テクノテスター Graph



テクノテスター Graph は、テクノテスターでの試験結果のグラフ化をサポートするソフトウェアです。

※グラフ試験モードと荷重・変位モードが、テクノテスターReportとテクノテスターGraphの両方に対応しています。

※パソコンとの接続には、付属のテクノテスターPCケーブル/RS-232C(D-SUB 9ピン)をご使用ください。

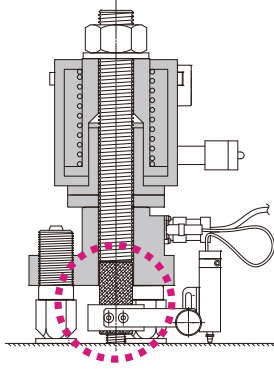
パソコン側にRS-232C(D-SUB 9ピン)接続ポートがない場合は、別途USBシリアル変換ケーブル(市販品)をご購入いただき、USBポートへ接続してください。

※テクノテスターReportおよびテクノテスターGraphは、付属のアプリケーションCDに収録されています。詳しい使用方法につきましては、同CD収録の取扱説明書およびヘルプをご参照ください。

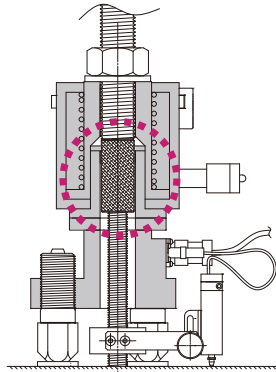
※Microsoft、Windows、Microsoft Excel は、米国Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

■試験方法

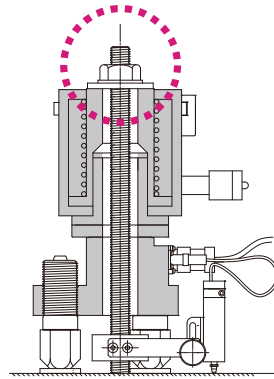
<アンカーの長さによる方法>



センターシャフト式①
供試体が短い場合
(アンカー突出長：60mm以下)

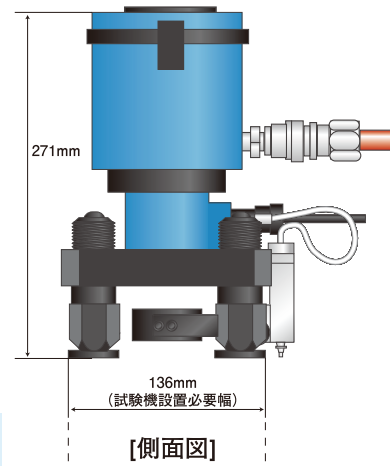


センターシャフト式②
供試体が試験機の内部に入る場合
(アンカー突出長：60～230mm)

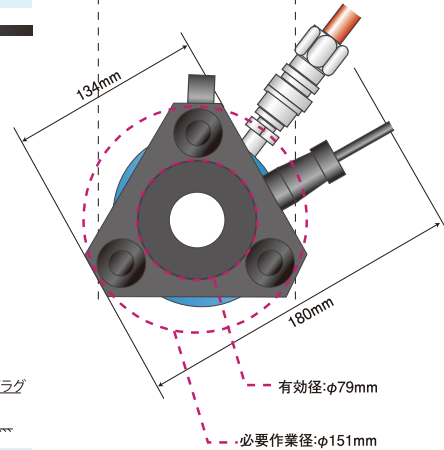


センターホール貫通式
供試体が試験機の上面から出る場合
(アンカー突出長：310mm以上)

■本体寸法

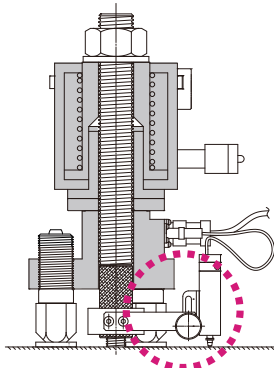


[側面図]

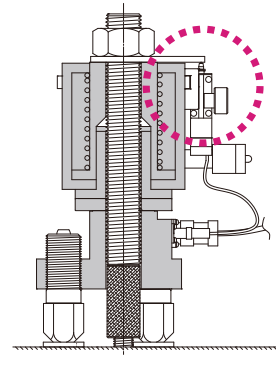


[下視図]

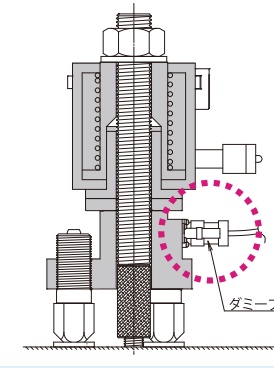
<変位測定法による方法>



直接変位測定法
供試体の根元に変位計を直接固定するため、アンカーの変位をより正確に測定することができます。



間接変位測定法
試験機の側面に変位計を固定するためセットが簡便に行えます。



変位測定を行わない場合
ダミープラグを用いることにより、確認荷重の試験のみ行う場合に対応できます。

■別売品

専用プリンター

M255

必要な
測定データを
その場で
プリントアウト

プリントアウト項目

- 荷重最大値とその時の変位
- ・ 日付/時刻の同時印字
- ・ テストNo.同時印字 (自動カウントアップ)



プリンター側の[PRINT]ボタンを押すと、その時の測定値(荷重値と変位値)がプリントされます。

測定部側の[印字]ボタンを押すと、テストナンバーおよび日付・時間、最大荷重値と最大荷重発生時の変位値がプリントされます。

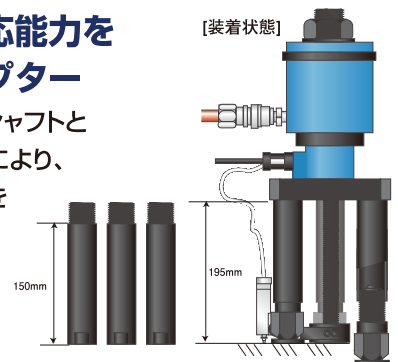
CURRENT	0.0kN
CURRENT	0.00mm
CURRENT	5.0kN
CURRENT	0.0mm
CURRENT	10.0kN
CURRENT	0.0mm
TEST NO.	1
DATE	2009/07/10 13:43
MAX	15.74kN
	0.0mm

AT-200ハイレッグ (長脚アダプター)

AT200H-LEG

現場での対応能力を
高めるアダプター

ロングセンターシャフトと
組み合わせる事により、
アンカーの対象を
広げる事が可能。



センターシャフト

AT200-CS150(ショート) AT200-CS450(ロング)

AT200-CS150(ショート)

アンカーがセンターホール内部に収まる場合に使用



※上図センターシャフト式②の場合
にご使用いただくと、標準品よりも
セットが簡便に行えます。

AT200-CS450(ロング)

AT-200ハイレッグと組み合わせて使用

